



《共通事項》

◆定期的なかん水について

晴天が5～6日(砂を含む土は4日)続いたら20～30mm程度のかん水を行なう。
10aに1mmのかん水をするには水1,000ℓが必要です。樹冠下に集中して行う。

《ブルーベリー・すもも》

◆晩生種の特別薬剤散布について

1. 散布時期・・・8月16日(水)～20日(日) 実際散布日記入 月 日
2. 調合量・・・水100ℓ 当り ※混用順に記載。 ※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前/使用回数
(展着剤まくぴか)	10mℓ	機能性展着剤	—
アンビルフロアブル	100mℓ	灰星病	前日まで/年2回
Ⓜモスピラン顆粒水溶剤	50g	シンクイムシ類	前日まで/年3回

3. 散布量・・・10a当り ⇒ 400ℓ
4. 留意事項

- ①9月に収穫する品種は、特別薬剤散布として行う。年間使用回数に注意する。
- ②シンクイムシ類・灰星病の発生が多く、薬液をしっかりと付着させたい場合は、均一に付着しやすく、乾きが早まり、液だまりが減少する展着剤の「まくぴか」10,000倍(水100ℓ当り10mℓ)を使用する。

◆収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種に行う。

収穫前の降雨によっては、腐敗果の発生が増加するため、特に収穫前の防除を徹底する。

1. 散布時期・・・収穫開始2日前 実際散布日記入 月 日
2. 調合量・・・水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病	前日まで
(Ⓜスカウトフロアブル)	50mℓ	シンクイムシ類	前日まで

3. 散布量・・・10a当り⇒350ℓ
4. 留意事項

- ①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。
- ②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル 2,000 倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000 倍(水100ℓ当り20g/収穫前日)を使用してもよい。

◆ブルーベリー出荷上の留意点について

下記内容の問題点が毎年出ている。出荷時に注意して下さい。

- ①農薬による汚れのある果実が見られるのでふきとって出荷する。
- ②果実にシンクイムシ、灰星病のものが散見される。⇒ 厳正に荷造りし混入しない
- ③過熟果・未熟果の出荷がある。(農家間の差が意外と大きい)
- ④玉の大きさにムラがある。(同じ大きさを420g以上になるように詰める)
- ⑤パック重不足がある。 ⑥異品種の混入がある。 ⑦返品されたものを取りに来ない方がいる。

◆スモモヒメシクイの対策の徹底について《重要》

スモモヒメシクイが食入する時期のため、園をまわって樹上や樹冠下の被害果の処分に当たる。

1. 薬剤防除・耕種的防除

- ①定期防除は、期日を守りムラなく散布し、量をしっかりと掛ける。
- ②園内をこまめに巡回し、樹上の被害果・落果した被害果の被害果をすべて見つけ処分する。

2. 処分方法

- ①被害果を園外に持ち出し、7日以上水漬けし果実中の幼虫を殺す。
- ②土中に埋める場合は50cm以上深く埋める。浅いと羽化し再び発生するので注意する。
- ③厚い肥料袋等に被害果を入れ、羽化成虫が外に飛び出さないよう口を固く結ぶ。レジ袋等不可。
- ④放任園や自家用で、防除しないプルーン・すもも等の発生源を伐採してもらう。

3. 被害果の特徴

- ①アメをだす。 ②果面に地図を描く。 ③果面が黄色や紫色に変色する。 ④落果している。

《なし》

◆当面の管理について

- 1. 南水栽培園は、防鳥ネットの設置を行う。(収穫1ヶ月前)

◆第12回薬剤散布について

- 1. 散布時期・・・8月23日(水)～8月27日(日)

実際散布日記入 月 日

- 2. 調合量・・・水100ℓ 当り

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10ml	—	—
キノドー顆粒水和剤	50ml	黒斑病・輪紋病	3日前まで

- 3. 散布量・・・10a当り⇒棚栽培400ℓ／立木栽培450ℓ以上

4. 留意事項

- ①収穫間際の早生品種(オーロラ、豊水)には散布しない。
- ②他の作物にかからないよう十分注意し散布する。

◆西洋梨「オーロラ」荷受について

荷受日	荷受時間	荷受場所
8月18日(金)	午前 9:00まで	西部流通C・松代総合C

1. 荷受方法

- ①コンテナは、各集荷場所(各流通センター)のりんご用コンテナを使用する。
- ②コンテナには新聞紙等を敷いて、押し傷をつけないように中小玉は2段詰め、大玉は1段詰めにする。(押し傷防止のため)。また、コードNo.を記入した用紙を入れる。(コンテナ毎に1枚)

◆なし贈答用ダンボール(5kg)注文について

贈答用のダンボールを必要な方は、8月25日(金)までに各流通センター・共選所へ申込下さい。

◆なし(南水)オープン箱(3kg)注文について

南水の欠点果について、オープン箱で荷受けすることとなりました。

資材は各流通センター・共選所にて取り扱っています。「もも」で使用しているものと同様です。

出荷規格については出荷講習会でお知らせいたします。

◆販売報告

1. ウメ

昨年に比べ、数量は少なく推移しましたが、漬け込み需要の低下等もあり、特に小梅・中梅については、厳しい販売状況でした。豊後については、出荷後半に黄色くなったものが多く出荷があり、出荷後半の単価は、一気に下がった状況でした。

2. アンズ

降雹の影響により、正品が少ない見込みでの販売だったため、市場や生協への協力を仰ぎ、正品の中に雹害果を入れるなど、生産者手取りの確保を図りました。

毎年行っている、JA 営業課を通じたインターネット販売については、数量の見込みが立たない中、昨年の半分くらいの数量を販売致しました。

加工(雹害)として荷受けしたアンズについては、JA 営業課を通じた、酒造会社への販売や、直接市場に出荷するなどして、販売単価の底上げを図りましたが、雹害果の販売企画終了後は、一気に荷動きが悪くなり、加工業者への販売等も行いました。

3. オウトウ

収穫直前の降雨の影響により、一部で裂果や腐敗果が多く見受けられ厳しい販売となったものの、高品質で贈答用で使われるものもありました。

《栽培に関する問合せ》

寺澤 (篠ノ井西部・信田) : 080-1188-5229 / 外谷 (情報担当・篠ノ井東部) : 080-8048-6602

松橋 (松代) : 090-4816-6297 / 佐藤 (川中島) : 090-7179-9866

根津 (更北) 080-1203-8576 / 松澤 (若穂) 080-1191-5166

吉澤 (全域・編集担当) : 090-2543-0365 / 営農販売部 (本所) : 292-0930

○果樹のアドバイザー (流通センター長兼務)

※センター繁忙期になるため、電話をとれない場合がありますが、ご了承下さい。

伊藤 (篠ノ井東部) 080-2239-6816 / 松坂 (篠ノ井西部) 080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所 / 営農販売部 (本所) : 292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部 / 農業資材課 : 299-3311